

公益財団法人花と緑の銀行における競争的研究資金等の使用に関する行動規範

平成 28 年 3 月 22 日制定

公益財団法人花と緑の銀行（以下「花と緑の銀行」という。）が行う競争的資金等による研究は、競争的研究資金等のもととなる税金によって支えられている。研究費の不正使用は、税金等が無駄になるばかりでなく、研究そのものの信頼を大きく損なうものであり、それを起こした研究者や所属する機関をはじめ、我が国の科学技術振興の体制を根底から揺るがしかねないものである。

こうしたことを踏まえ、花と緑の銀行での競争的研究資金等の使用にあたって、信頼性と公正性を確保することを目的として、花と緑の銀行に所属する研究者、事務職員等（以下「研究者等」という。）の行動規範を定めるものである。

- 1 研究者等は、競争的研究資金等が、花と緑の銀行が管理する公的な資金であることを認識し、公正かつ効率的にこれを使用しなければならない。
- 2 研究者等は、競争的研究資金等の使用にあたり、関係する法令・通達、花と緑の銀行が定める諸規程、競争的研究資金等の使用ルールを遵守しなければならない。
- 3 研究者等は、研究計画に基づき、競争的研究資金等を計画的かつ適正に使用しなければならない。
- 4 研究者等は、各競争的研究資金等の特性や事務手続などを理解し、効率的かつ適正な事務処理を行わなければならない。
- 5 研究者等は、相互の理解と緊密な連携を図り、協力して競争的研究資金等の不正使用を未然に防止しなければならない。
- 6 研究者等は、競争的研究資金等の使用にあたり、取引業者との関係において第三者からの疑惑や不信を招くことのないよう公正に行動しなければならない。
- 7 研究者等は、競争的研究資金等の取扱いに関する研修等に積極的に参加し、競争的研究資金等の使用ルールの理解に努めなければならない。